

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	<p>児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、子どもたちの生きる力を育むため、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進します。</p> <p>また、すべての児童生徒が安心して学べる教育環境をさらに充実させるため、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細かな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行います。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 特色ある学校教育推進事業	2	B
(2) 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	1	A
(3) 教育相談の充実	1	A
(4) 安全・安心な教育施設の整備	1	B
(5) 地域と連動した教育活動の充実	1	B
課題 (箇条書き)	<p>・2年継続で行っている一色小学校へのコミュニティ・スクール導入準備については28年度は研修や啓発活動を中心に取り組んだが、地域の方々の理解を深め、協力体制を整えていくには、更なる取組が必要である。</p>	

総合 評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
	<p>説明</p>	<p>これまでの取り組みにより、一定の理解を得てきたが、学校と保護者、地域が力を合わせて学校運営に取り組む環境づくりを目指し、さらなる理解と協力を得るため、引き続き、分かりやすく、丁寧な対応に努める。</p>
	<p>方向性</p>	<p>コミュニティ・スクールについては、啓発や情報発信等に工夫をし、地域の参加を広げる。また、モデル校として先行導入を目指している一色小学校に続き、他校においても導入に向けた準備を進める。</p> <p>小中一貫教育については、コミュニティ・スクールとの有機的な連携も見据え、今後の学校のあり方も含めた研究を継続する。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
<p>意見等</p>	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。</p> <p>今後さらに推進するために、地域の資源を最大限活かした教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携を図り、一体となって教育活動に取り組む。併せて、将来を見据えた学校教育・学校施設のあり方については、学校、家庭そして地域が互いの役割を認識し、子どもたちの教育に対する共通の認識と目標の下、検討を進める。</p>